

令和元年度外務省所管補正予算

合計額：1303.6億円

(追加財政需要：762.1億円，経済対策：541.5億円)

1. 追加財政需要

(1) 人道・テロ対策・社会安定化支援	金額
<p>■ ミャンマーにおける帰還民・国内避難民の再定住等の緊急支援</p> <ul style="list-style-type: none">2018年12月以降激化したミャンマー国軍とアラカン軍の衝突による新たな国内避難民の発生を踏まえ，ラカイン州・カチン州・シャン州北部における人道支援（食糧供給，保健・栄養状態改善，水・衛生分野の支援，教育支援等）及びラカイン州・カチン州での帰還民・国内避難民再定住を実施。	16.1
<p>■ フィリピン・バンサモロ暫定自治政府に対する社会安定化支援</p> <ul style="list-style-type: none">2019年2月にフィリピン・ミンダナオにおいて暫定自治政府が成立したことを踏まえ，脆弱な移行期にあるミンダナオ和平に貢献するため，同バンサモロ地域において，暴力的過激主義対策を行いつつ，元MILF兵士の退役・武装解除を着実に進めるとともに，安定した生活を営むことを可能とするための社会基盤（電力，教育，保健等）の整備を実施。	4.8
<p>■ 太平洋島嶼国におけるデング熱・洪水等への支援</p> <ul style="list-style-type: none">太平洋島嶼地域のうち，特に自然災害，突発事故の影響を受けた島嶼国を対象に，通信網の改善並びに電力供給の安定化を実施。	14.8
<p>■ バングラデシュにおける避難民及びホストコミュニティの人道状況悪化を受けた緊急支援</p> <ul style="list-style-type: none">ミャンマーから流入した避難民とホストコミュニティの摩擦が深刻化。加えて自然災害による深刻な被害が発生する中，避難民及びホストコミュニティに対して，基礎的人道ニーズを満たすための緊急支援を実施。	18.4
<p>■ 緊迫化する中東情勢の安定化及びシリア危機等に対する支援</p> <ul style="list-style-type: none">シリア危機等を含め，情勢が緊迫化する中東・北アフリカ等の地域において，地域安定化への貢献を目的として，脆弱な環境におかれている難民・避難民等に対する人道支援やテロ対策支援等の社会安定化支援を国際機関等を通じて実施。	224.6

※ 単位：億円。四捨五入の関係上，合計額に不一致あり。

令和元年度外務省所管補正予算

1. 追加財政需要（続き）

(1) 人道・テロ対策・社会安定化支援（続き）	金額
■ アフガニスタン安定化支援 <ul style="list-style-type: none">アフガニスタンを自立させ、再びテロの温床としないため、治安・ガバナンス等の分野における同国の努力を支援するとともに、国内避難民や国外からの帰還民等に対する人道支援を実施。	88.9
■ サブサハラ・アフリカにおける社会安定化のための緊急ニーズへの支援 <ul style="list-style-type: none">サブサハラ・アフリカ諸国における社会安定化のため、国際機関等を通じて難民・国内避難民等への人道支援、テロ対策・平和維持・平和構築能力向上を含む安全保障環境改善のための支援、エボラ出血熱等の保健分野への対応、自然災害への対応、各種社会課題への対応等の支援を実施。	69.7
■ サブサハラ・アフリカにおける食料危機に対する支援 <ul style="list-style-type: none">サブサハラ・アフリカ諸国における深刻な食料危機に対処するため、国際機関等を通じて支援を実施。	77.9
■ 南アジアを中心としたアジアにおけるテロ・暴力的過激主義対策支援 <ul style="list-style-type: none">南アジア地域を中心に急激にテロ・暴力的過激主義の脅威が深刻化していることを踏まえ、在留邦人及び日系企業の安全、アジア地域、ひいては国際社会の安全確保のため、①刑事司法・法執行強化によるテロ対策能力向上、②テロの根源とされる暴力的過激主義への対策を実施。	27.7

令和元年度外務省所管補正予算

1. 追加財政需要（続き）

(2) 国連分担金等	金額
■ 国連平和維持活動（PKO）分担金 ・ 当初予算編成時には見込めなかったミッションに関する経費。	191.2
■ 国連分担金 ・ 令和元年度当初予算編成時に決定されていなかったため同予算に計上できなかった特別政治ミッション2件（国連ホデイダ合意支援ミッション（UNMHA）、国連ハイチ統合オフィスミッション（BINUH））及び人権理事会の決議に基づく経費の総額にかかる追加経費。	19.5
(3) その他外交課題等	金額
■ 中国遺棄化学兵器問題・現地調査関連経費 ・ 吉林省敦化市及び湖北省武漢市において、中国から通報を受けた化学兵器が日本の遺棄化学兵器かどうか判断するための現地調査を実施。	5.3
■ 旅券冊子作成等経費 ・ 国民の海外渡航が円滑かつ安定的に行われるよう旅券冊子を追加作成。	2.2
■ 在外公館警備強化 ・ テロ・襲撃・誘拐等の脅威が高い地域に所在する公館において、在外公館職員等の館外活動時の安全を確保すべく、安全対策強化（防弾車配備及びX線透視装置の配備）を実施。	0.9

2. 経済対策

柱① 災害からの復旧・復興と安全・安心の確保

(該当なし)

柱② 経済の下振れリスクを乗り越えようとする者への重点支援

金額

■ 放送コンテンツ海外展開支援事業 (注) 柱3にも該当

- アジア太平洋地域や欧州を中心に、商業ベースでは日本のコンテンツが放送されにくい国・地域のテレビ局を対象に、日本事業者の製作するドラマ、アニメ、映画、ドキュメンタリー、情報番組等は無償で提供する。

5.0

■ アジア地域に進出する日本企業支援

- 日本企業が直面し得る様々なリスクを軽減し、アジア地域進出を後押しするため、アジア情勢や国際法の専門家等との協力、各種調査等を実施する。

9.9

柱③ 未来への投資と東京オリパラ後も見据えた経済活力の維持・向上

金額

■ 世界エイズ・結核・マラリア対策基金（グローバルファンド）拠出金

- モザンビーク、ジンバブエへのサイクロン直撃、ウガンダ、スーダンでの雨期長期化に伴う南部アフリカ諸国等でのマラリアの感染状況の悪化、同災害に伴う薬剤耐性結核を含む感染症の拡大を受け、エイズ、結核、マラリアの予防・治療・ケアの実現のためのプロジェクトを実施。また、日本企業の革新的な医薬品等の調達を高めると共に持続可能な開発目標の達成につなげる。

444.0

■ Gaviへの拠出を通じたコンゴ（民）及び近隣国におけるエボラ等拡大防止支援

- コンゴ（民）で流行拡大中のエボラ出血熱と、同国・周辺地域の低い予防接種率、脆弱な保健システム、紛争、リソースの制約等の要因によるその他感染症（麻疹、黄熱病等）の拡大を受け、緊急の予防接種を行うことにより、更なる感染拡大及び子どもの死亡を防止。また、日本企業のイノベーションとGaviの協力を強化することを促す。

20.6

2. 経済対策（続き）

柱③ 未来への投資と東京オリパラ後も見据えた経済活力の維持・向上（続き）	金額
<p>■ グローバルヘルス技術振興基金（GHIT）及びUNDPへの拠出を通じた医薬品の研究開発及び供給支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ グローバルな人の移動の拡大及び自然災害や紛争による難民の増加等に伴い、顧みられない熱帯病（NTDs）やマラリア、結核等の感染症拡大の危険性が急増する中、必要な医薬品の研究開発及び医薬品の供給を促進し、国際的な感染症対策に貢献する。日本発の医薬品開発と国際展開に繋げると共に日本の製薬産業の活性化につなげる。 	4.0
<p>■ 海洋プラスチックごみ・気候変動対策緊急支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アジア地域における海洋プラスチックごみ流出防止や削減等を支援する取組を実施する。また、国連気候変動枠組条約下の技術移転メカニズムを活用し、途上国の気候変動対策の立案・実現を支援する。 	28.4
<p>■ アマゾン及びインドネシアにおける大規模森林火災対策緊急支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アマゾン・インドネシアにおける大規模火災に対応するため、森林火災予防活動の支援、消火保全活動のための機材・物資の供与等を実施。 	3.2
<p>■ 日本語・日本文化の魅力紹介サポーター派遣事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アジア太平洋地域を中心に、観光目的地としての日本への関心や親日感を醸成するために、基礎的な日本語教育等の支援とともに、現地関係機関とも連携し、地方の魅力を含めた日本文化・社会の魅力の紹介を行う。 	20.0
<p>■ 海外日本語教育事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本を就労先として選ぶ外国人材をより適切に選定するための試験の充実や、日本への訪問に繋がる日本語教育事業の充実により、日本との交流促進、就労・観光先としての認知向上、外国人材の確保による経済活性化などに貢献する。 	6.3